生きがいしごとサポートセンター神戸東

ワラビー

第129号　2019年11月20日発行
発行人：人羅　亜矢子　編集人：上畑 みのり

◆兵庫県の事業補助を受け、就業・起業のサポート事業を行っています。厚生労働省認可「無料職業紹介所」です。

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
生きがいしごとサポートセンター神戸東

〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町5-2-2ﾋﾞｭｰﾀﾜｰ住吉館104
TEL078-841-0387　FAX078-841-0312
E-mail　⇒ info@cs-wallaby.com
URL ⇒ http://www.cs-wallaby.com

特集：「ハタラクをつくる」

ワラビーでは「ハタラクをつくる」をテーマに新しい働き方の提案をしています。その中の1つであるシニアのグループでのシェアワークを紹介します。

アテンド・クルー（事例１）

アテンド・クルーとは？

高齢者施設での周辺業務（身体介護以外の業務）を行うグループ。
２人１組で２時間半の活動を行い、活動費は3,000円＋交通費(実費)。
事業者とアテンドクルーが活動内容を事前合意した上で、「ボランティア合意書」を交わし対等なパートナーシップのもとに活動する。

①活動状況は？

現在、神戸市内には８グループが立ち上がり、10か所の施設で活動をしています。在宅での生活支援活動を行っているグループが１つ、今後取り組みを始める、またはスタートを切ったグループが２グループと活動の範囲も広がってきています。

②どんなきっかけで始めるの？

メンバーは、神戸市の介護予防生活支援サポーター研修の修了生がほとんどですが、中にはご自身の家族の介護経験を活かして活動されている方もいらっしゃいます。

③どのように始めるの？

活動内容と活動日については施設と話し合いをして決めます。ある施設では、月曜日に入退院が多いので、月曜日は必ず来てほしいという要望があったり、レクリエーションをすべて任せたいと言われたり、また、施設の庭の手入れや、エントランス部分の清掃、食事の配膳や下膳など業務の内容は様々です。

最初の打合せで、施設の要望を伺い、グループのメンバーが出来ること、出来そうなことをすり合わせて活動内容が決めます。施設内での車椅子の移動支援に関しては、簡単な研修を受けてもらうこともあります。こうして決まった活動内容をグループのメンバーでシェアします。

④どんなメリットがあるの？

１回の活動は２人１組で２時間半程度、活動頻度はグループで様々ですが、平均すると週１～２回程度、１グループが10名前後なので、１人当たりの活動は月１～２回となります。これくらいの頻度であれば、無理なく続けられることができます。また、体調を崩したり、家族の介護が始まったりと急な環境の変化があっても、グループの他のメンバーに助けてもらうことができ、安心して活動することができます。

ワラビーでは、事業者や活動される方と共に試行錯誤を重ねながら、このような新しい働き方を提案していきます！

「就業事例のご紹介」

新しい職場で働かれているお二人をご紹介します。どのように活躍されているのでしょうか

放課後デイサービスあかしあクラブ　森谷　清子　さん

①どんなお仕事ですか

障がいのある学齢期児童が学校の授業終了後や学校休業日に通う事業所で働いています。それぞれのお子さんの個性に合わせて、宿題や勉強でわからないところのお手伝いをします。息抜きに子どもたちの話を楽しく聞いたり、終わったら何をして遊びたいか話したり、モチベーションが少しでも上がる様に心がけています。

②仕事にどんなやりがいを感じますか

自分の両親や家族の世話をしているが、空き時間を有効に使いたいと思っていました。何か自分に出来る事を探していたところ、この仕事にめぐりあうことができました。自分の子育ての経験も活かすことができ、1人1人の個性に柔軟に対応していくことに楽しさを感じます。仕事をするようになって、家族が理解してくれること、また家族との団らんの時の会話が増えるなど良い影響がありました。とても気持ちよく働けています。

③求職中の人にメッセージをお願いします。

お仕事も縁だと思うので、外出した時も常にアンテナを張り、興味があるところにはちょっと寄ってみることおすすめします。今回のお仕事もふらっとワラビーに寄ったことでお仕事をすることになりました。

神戸老人ホーム　石井　隆彦　さん

①どんなお仕事ですか

デイサービスの送迎をしています。朝はご利用者をご自宅から施設まで送り、夕方にはご自宅へ送り届けます。約10人をくらいの送迎をしますが、最初は家の場所を覚えるのに苦労しました。

②仕事にどんなやりがいを感じますか

送迎時に、ご利用者の方が乗りやすいように、玄関側にドアが来るように車を回して乗り付けています。自分も年を取ったら同様にお世話になるかもしれないと思いながら、すこしでも手助けになるよう考えて工夫しています。いつもご利用者さんの感謝され、それがうれしく、やりがいにつながっています。

③求職中の人にメッセージをお願いします。

母の介護をしていましたが、あまり親孝行できずに亡くなってしまいました。その後悔もあって、今の仕事をしているかもしれません。年を重ねても、自分がしたいと思う仕事をすることで人生を楽しく過ごせるのではないでしょうか。

ワラビーでは、日頃のご相談以外にも、月に1回くらいのペースでおしごと説明会を開催しています。どのような仕事があるかご説明し、求職している方のご相談をうかがうことで就業へのサポートをしています。

プラチナワーク（事例2）

プラチナワークとは？

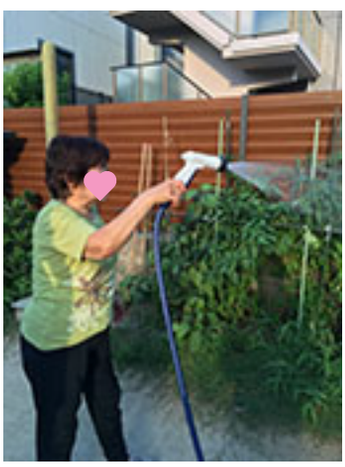
アテンドクルーの枠組みを活用して作ったグループワークの仕組み。現在は、認定こども園等の施設での周辺業務を行っている。2時間程度の活動を行い、活動費は600円/時間＋交通費(実費)事業者とグループが活動内容を事前合意した上で、「ボランティア合意書」を交わし対等なパートナーシップのもとに活動する。

①活動状況は？

昨年立ち上がった1グループに加え、新たに3つのグループが活動を始めています。

②どんなきっかけで始めるの？

メンバーは、地域の為に何か役に立ちたいという方が集まりました。



③活動内容は？

こども園のお花の水遣りや登園の見守りをしています。かわいい園児の様子を見ながら仕事が出来る楽しみがあります。月1回ミーティングで次月のシフトを決め、週1～2日の活動をしています。草取りや枯れ葉の処理、季節の花の植え替えなど、気が付いた事を活動に取り入れ積極的な活動になるように施設に提案しています。

④どんなメリットがあるの？

週1回からのゆっくりとした働き方ができ、シフト制なので体調や家の都合で活動日を調整することができます。また、共に働くメンバーがいる事で、やりがいにもつながります。

「講座開催のご報告」

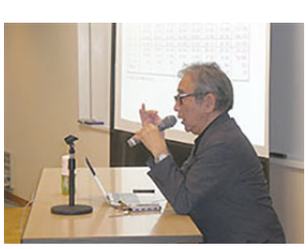
①「SNSで集客してみよう講座」（5/29・6/4）

SNSを使うことで、低コストで簡単に広報ができます。そのノウハウを学ぶ講座をビーラブカンパニーの西良旺子さんを講師に迎え、開催しました。どれだけ多くの人が見てくれるか、人気のブログ、インスタ、ツイッター、フェイスブックの例を見ながら解説を聞きました。その後、実際に自分のスマホを使ってフェイスブックで広報のページを作成していきます。参加者は最初、内容についていけず戸惑っていましたが、フェイスブックでお互いがつながり、広報のページが出来上がった時にはとても楽しい雰囲気となりました。今まで、SNSを敬遠していた人もためらわずに使えるようになったようです。

② 女性起業セミナー「まちなかシゴト始めてみませんか」(6/26・7/3・7/24・7/31)

趣味や特技を「まちなか仕事」という形で楽しみながら社会に生かすためのノウハウを学ぶ講座を開催しました。まだ夢の形がぼんやりしている状態から、コミュニティ・ビジネスについて学び、自分で事業計画書を立てて発表しました。最後の講座のころには、参加者の表情もいきいきと輝き、自分の未来への進み方が見えてきたようでした。次の実践に向けて進みだした人もいます。参加者が、一歩踏み出せるきっかけを作ることができました。

③ ハタラクをつくるコミュニティ・ビジネス1DAYスクール(7/20)



日々の生活で困っていること、あったらいいなということをアイデアと熱意によって事業化し、地域を豊に元気にしていく取り組みであるコミュニティ・ビジネス(CB)。実際に起業した方々の体験談を聞いて、ヒントやノウハウを学びます。文筆家の平川克美氏の講演と事例紹介として3人のお話を質疑応答の形で進めていきました。平川氏には、社会の流れや経済の視点から、今をどう捉えて考えていくかを笑いをまじえながらお話いただきました。実践者には、熱い質問が多く飛び交い会場全体が盛り上がりました。

このような講座にご関心のある方は、ワラビーまでお問合せください。

丹波応援リレートーク　Vol.3　3 roastery

CS神戸/ワラビーでは長年丹波での起業支援をさせていただいてます。丹波でご活躍中の方々にリレー方式でご登場いただき、活動紹介させていただきます♪

丹波に移住したアメリカ人が、“3roastery”という珈琲の焙煎工房を起業して活躍しています

今年5月に青垣の神楽小学校跡に“FOREST Doorしぐら”がオープン。改装された教室で地元のグループが工房やショップ、居場所を運営しています。地元の女性グループによる起業出展をお手伝いしたマイケル・トイさんがその一室に毎週金曜日に　”Tsuchinoco Café“という珈琲店を出店、焙煎機も持ち込んで美味しい珈琲を提供しています。マイケルさんにアメリカから丹波へ移住することになるファミリーの物語、焙煎珈琲へのこだわり、丹波での暮らし方、珈琲の提供から繋がる地域貢献への新しい夢を、お聞きしました。

◆夢の原点は“Peet's Coffee ”

2005年にサンフランシスコ空港に老舗珈琲のチェーン“Peet's Coffee & Tee”が新店をオープンした際、マイケルさんは大学卒業後すぐマネージャーとして勤め始めたそうです。このチェーン店はスターバックスがシアトルに”Peet's Coffee“のような店をと考え、最初の店を立ち上げた時は、珈琲豆は”Peet's Coffee“から仕入れて使ったと言われるレジェンドな老舗で、ここで珈琲のこだわりをもつようになり、将来のカフェ起業の夢を抱いたそうです。

◆東日本大震災が転機

日本に来ることになったのは、大学で知りあって、のちの妻になる中川ミミさんの転勤がきっかけ。ミミさんが働いていたNPO法人が東日本大震災の被災者支援をするのでミミさんが帰国。IT企業に転職していたマイケルさんもテレワークを申し出て日本で仕事をすることになる。3年経ちミミさんの出身地の丹波で、子育てをする決断をし、マイケルさんも同伴して丹波に移住、青垣で１０年越しの夢である珈琲ショップを形にすることになった訳です。

◆coffee, differentnな” 焙煎工房“ 3 roastery　”

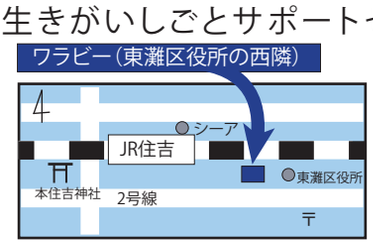
2018年、青垣にオープンした珈琲の焙煎工房“ 3 roastery　”はカフェも併設、ミミさんが経営している古民家シェアハウスの離れをマイケルさん自身DIYでリフォームした建屋と、海外から大型焙煎機を安く直輸入して開店資金を安く抑えた。海外から厳選された新鮮な豆を直輸入、丁寧にロースティングし青垣のピュアな源流水をつかって淹れた珈琲が提供されます。ロゴとセットで使う”coffee, diffrent”は、「砂糖とミルクを入れないと苦くて飲めないコーヒーとは、違うよ!」という主張。値段は安く維持し、農園民宿”おかだ“からの食材調達、菓子工房“あれっと“のスイーツ、いっぷくベーカリーなど地元青垣の食材のネットワークをつくりで地元での評判を高めていく。

◆珈琲から考える社会貢献

これからの計画はサステナブル・サイクルの実現。珈琲滓を野菜肥料に利用し、この野菜を農家から購入して料理メニューにという様なプランやコーヒー農園とのフェアトレードなどを視野に入れてブランディングに力をいれていく。マイケルさんの丹波の夢はきりがありません。

3roasteryお店情報
【住所】丹波市青垣町小倉422-1
【営業時間】
月・木・金曜日　9:00～18:00
土・日曜日　7:30～18:00
【電話番号】0795-88-5777

認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸（CS神戸）
生きがいしごとサポートセンター神戸東（愛称ワラビー）　担当：人羅・柳井・上畑



〒658-0052　神戸市東灘区住吉東町5-2-2ﾋﾞｭｰﾀﾜｰ住吉館104
（ＪＲ神戸線「住吉」駅南東側 徒歩5分）
☎　078-841-0387
開室日：月曜日～土曜日（日曜・祝日休み）　開室時間：9：30～17:30

「生きがいしごとサポートセンター」は、他に「阪神北」、「阪神南」、「播磨東」、「播磨西」があります。
詳しくは上記までお問合せ下さい。

【編集後記】そろそろ地域に為に何かしてみたいなぁと思い始めた方が、たまたまワラビーを見つけてご来所されることが多くなって来ました。人の役に立つ為の方法も様々で、お仕事をしたり、ボランティアをしたり、グループで活動など。皆さんがいきいきとしてしている姿は輝いてみえます。